

送辞

肌を刺すような冷たい外気がいつの間にか和らぎ、温かな心地よい風を頬に感じる季節となりました。このような良き日に早稲田大学を卒業された皆様、並びに大学院を修了された皆様に、在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、先輩方の脳裏にはどのようなことが浮かんでいるのでしょうか。期待と不安を抱え入学した日のこと、レポートや課題の提出に追われた日々のこと、はたまたテスト明けに朝まで飲み明かした日のことでしょうか。人それぞれの大学生活があったと思いますが、どれも大切な思い出になったことではないでしょうか。

思い返せば、自分たちはいつも先輩方の支えとともにありました。実験科目ではTAとして丁寧に指導してくださり、サークルや委員会活動ではいつでも後輩に寄り添って、悩める私たちを導いてくださいました。先輩方の優しさが私たちにとってどれほど有難かったことか。今後は私たちが後輩を導く存在になれるように、日々精進いたします。

さて、コロナウイルスの拡大によって、この数年間で世の中は大きく変化しました。しかし、大きな変化の流れの中にあるように、応用化学科で学んだ「役立つ化学、役立てる化学」の力とともに、先輩方が社会で輝き続けると確信しております。新しい世界へと羽ばたかれる先輩方の背中を追いかけ、私たちが在校生もより一層努力を重ねていきたいと思えます。

最後に皆様のご健勝とさらなるご多幸をお祈りいたします。

りし、送辞をさせていただきます。本日は誠にござ
卒業おめでとうございます。

令和五年三月二十六日

在校生代表

石崎 柁平